

県労連HP ブラック企業アンケート結果を公表 “5年で3人死亡”“月200時間超の残業” 深刻な実態が次々明らかに

記者会見を行う勝見議長
と飯澤事務局長



県労連の勝見忍議長と飯澤智美事務局長（労働相談センター事務局長）は六月二二日、県庁内で記者会見を行い、県労連ホームページに常時掲載されている「ブラック企業アンケート」の集約結果を発表しました。ホームページには、二〇一四年から同アンケートのページを設け、誰でも答えられるようにしています。

勝見議長は、「寄せられた回答は氷山の一角です。山形労働局に企業名が記載された事案の対応を要請し、経営者団体などに会員企業に法令遵守を徹底するように要請したい」と語りました。

報告しました。深刻さも目立つと報告しました。勝見議長は、「寄せられた回答は氷山の一角です。山形労働局に企業名が記載された事案の対応を要請し、経営者団体などに会員企業に法令遵守を徹底するように要請したい」と語りました。

発表したのは、二〇一六年六月から二〇一八年五月までの二年間分で、アンケートに回答が寄せられた34人分の集計です。先ごろ強行された「働き方改革」法を先取りするかのような深刻な実態が明らかとなりました。会見で勝見議長は、「パワハラや長時間労働、サービス残業、メンタル不全など様々な事案がみられ、非常に深刻な状況にある」と述べました。飯澤氏は、集約結果の特徴とともに、アンケート内の「状況記入欄」について、「労基法無視、『自己責任』の押しつけや、内容の深刻さの度合いが深まっており、パワハラ深刻さも目立つ」と報告しました。

やまがた
県労連

発行責任者
勝見忍
山形市薬師町2-6-15
TEL 023(615)2172
FAX 023(615)2173
URL: <http://www.yamagataroren.com/>
Email: yamagataroren@yahoo.co.jp

状況記入欄に記載された主な事例を紹介します

- 社長、専務はそろってハイブリットの新車に乗り、社会保険や厚生年金は自分たちだけかけている。労働基準法などへのカッパ。自分の気分次第で社員にあたりちらし、給料を払っているのだから何をしてもいいと言わんばかり。完全に社員を私物化している。
- 雇用契約書に有給休暇の取得可能日数が記載されており、申請してもよいか確認したら「取らせない。どんな理由があっても却下する。申請しても握りつぶす」と言われた。
- 役職によって、残業代がなし、または30時間以上はつかない。仮に、タイムカード上の残業代を給与試算表に提示した場合、見せしめやパワハラともいえることが会議の際に行われる。専務や業務長から「〇〇店は売り上げ数値が少ないのに、残業代を〇時間もつけて！」等々。タイムカード記録の虚偽記載を強要したり、不払い労働が行われている。
- 社会保険のついたパートには月124時間以上の勤務が義務づけられているが、パートの人員が増えたため、月当たりの勤務可能時間数がどんどん削られている。というのは、その月のパートの勤務可能な時間数が決まっており、当月が忙しいと急に時間を増やされたり、逆だと減らされたり、と勤務時間が安定しない。そのため繁忙期は常に人が足りず閑散期は労働時間が削られる、という悪循環となっている。
- 毎日、社長や上司にパワハラ的な嫌がらせをされている。日に日に行動が強くなってきて、精神的にも身体的にももたない。
- 時間外勤務は月200時間を超えるが、時間外手当は毎月5万円固定だ。理由は給与計算をしている社長の嫁が、計算が面倒ということ。連日、社長の演説や怒号を深夜まで聞かされ、作業がすすまず、それをまた叱責される。気に入らない従業員は、さんざん怒号を浴びせたくえ解雇したり、精神や身体に異常をきたして退職する人もいる。
- ここは地獄だ。5年で3人死んでいるが、なかったことになっている。昇進は上司に気に入られた者だけで、点数は公表されずに1~2年で正社員になれる。気に入られない者はどんなに試験が好成績でも、点数がねじまげられ10年も非正規のままだ。
- サービス残業は当たり前。残業は認めないが仕事はしろ。残業は申告せずにタイムカードを実時間で提出すると、後日修正されて本社に報告される。当然サービス残業はしていないように記録される。契約社員なら雇用は続けると言われた。新卒社員の8割の賃金で30年間働いてきた。頑張らなければ次の契約はなく、頑張っても待遇がよくなることはない

最低賃金議会請願 米沢市議会で一部採択

県労連は各地域労連とともに 弊させる要因となつているとに、最低賃金の大幅引き上げと して、最低賃金の大幅引き上げ 全国一律最賃制度の確立を求 と中小企業支援の抜本拡充、地 域間格差を解消するため全国 動に取り組み、山形市と米沢市 一律最賃制度の確立などを内 の二ヶ所に提出しました。

請願では、山形県最賃の73 9円では、フルタイムで働いて も手取り11〜13万円にし かならず、憲法が保障する「健 康で文化的な最低限度の生活」 はできないとし、しかも最高額 の東京都の958円とは21 9円もの格差があると指摘。そ の結果、労働力の流出を招き、 地方の高齢化と地域経済を疲 ました。

3000万人署名山形県で12万筆 引き続き取り組みましよう！

「安倍9条改憲NO！やまが た県民の会」が集約した「30 00万人全国統一署名」は約1 2万5千筆となっております(五 月二三日現在)。安倍9条改憲 NO！憲法を生かす全国統一 署名は、広範な労働組合・団 体・市民の共同による「安倍9

「県民の会」は、この間、五 月三日憲法記念日までを節目 に、構成団体の取り組みに加 え、毎月一九日の山形市内での 街頭署名行動などで署名を推 進してきました。また「県民運 動実行委員会」も毎月2回の街 頭署名、「九条の会」なども地 域で署名を広げています。

一日も早く元の生活に戻れるよう 西日本豪雨災害で街頭募金活動

避難者なんでも相談実行委員会

震災・原発 事故避難者 のためのな んでも相談 会実行委員 会(外塚功実 行委員長)は 七月一八日、 猛暑の中、山 形駅前以西 日本豪雨災 害被災者救 援募金活動 に取り組み ました。県労 連など構成 団体から1 4人が、汗を 拭きながら 参加しまし た。

実行委員会の事務局長であ る勝見議長は「七月一八日現 在、約4800人が避難生活を 送っている。甚大な被害をうけ た被災地の本格的な復旧はこ れからです。被災者が1日も早 く元の生活にもどれるよう募 金にご協力下さい」と呼びかけ ました。

募金袋を目にし近づいてき てお金を入れる女性、昼休みの 会社員風の人たち、学生風の若 者など様々な人が募金に協力 しました。寒河江市の60代男 性は、「気の毒としか言いよう がない。親の介護があるので現 地でボランティアはできない が」と話し、募金を寄せました。

同実行委員会としては、被 災地の状況を見ながら、今後も 募金活動を計画します。

大災害なのに 「赤坂自民亭」

気象庁が記録的豪雨への警 戒を呼びかけ、各地で十一万 人が避難し、すでに死者も出 ていた七月五日夜、危機管理 対応に当たるべき安倍首相と 小野寺五典防衛相ら自民党議 員数十人が衆院赤坂議員宿舎 内で「赤坂自民亭」と称する 宴会を開き、高価な酒をあお り飲食に興じていました。参 加者には、翌日、オウム真理 教幹部の死刑執行を控えてい た上川陽子法務相も含まれて



『赤坂自民亭』に参加した安倍首相ら (西村康徳官房副長官のツイッターより)

います。議員らのSNS上で の写真の拡散などで知れ渡 り、「人命より酒席か」との 怒りの声があふれました。し かも、災害復旧よりカジノ法 案の審議を優先したことも、 世論のひんしゆくを買いま した。

第48回県母親大会開かれる 「働き方」分科会で勝見氏ら助言

第48回山 形県母親大会 が六月三日、 山形市内で開 かれ、350 人が参加しま した。

午前中は各 分科会に分か れて討論。第 三分科会は 「働き方改革 って？」のテ ーマで討論が 行われ、助言 者として勝見 議長と労働

相談センターの飯澤智美事 務局長が問題提起等を行 い ました。勝見議長は、憲法が 要請する「働き方」について、 憲法の条文を具体的に説明 しながら、安倍「働き方改革」 の問題点を指摘しました。飯 澤氏は、ブラック企業アンケ ート結果や労働相談事例な どから、いかに労基法などの 法令が無視されているか、実 態を明らかにしました。

午後の全体会では、フォト ジャーナリストの安田菜津 紀さんが記念講演を行いま した。



募金の呼びかけにこたえる青年